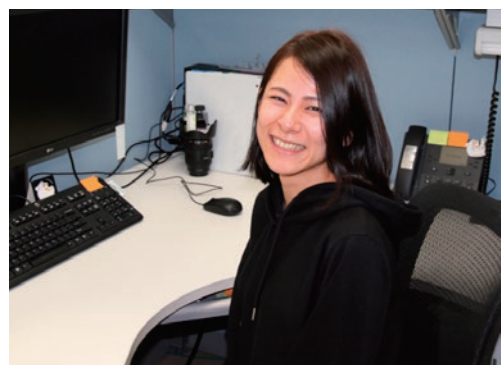


各地の職場から

今回は神奈川県横浜市の横須賀基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

お名前：岩崎 虞子
 職場名：米海軍横須賀艦船修理廠及び日本地区造修統括本部 エンジニアリング・企画見積部
 職種：エンジニアリング専門職（機械）
 趣味：映画鑑賞、ラグビー観戦

プロフィール

お名前：保田 路子
 職場名：NAVSUP 横須賀艦隊補給センター 契約部
 職種：契約、調達顧問職
 趣味：音楽鑑賞、ピアノ演奏

コメント

米海軍横須賀艦船修理廠及び日本地区造修統括本部に入廠するまで、私は「横須賀」を一度も訪れたことがありませんでした。そもそも、「横須賀＝海軍」というほどの印象しかなかった私が米海軍横須賀基地で働くことになるとは想像もしていませんでした。横須賀基地でエンジニアリング専門職として働き始めた当初は、私は前職との間にフランクがあることそして郷里から1千キロメートル以上離れた見知らぬ土地で働くという二重の不安を抱えていました。ですが、それはもう2年も前の話です。今ではちょっとした横須賀の地元の話題にも参加できるまでに横須賀での生活に慣れてきました。

現在、私は3つのセクションから成る、総勢21名の造機課に所属しています。みなさんは「設計」という言葉からどのようなイメージを心に描きますか。自動車を設計する。冷蔵庫を設計する。医療機械を設計する。何もないところから新しい製品を作るというイメージが強いのではないのでしょうか。しかし、ここは米海軍横須賀基地艦船修理廠ですから、艦船を「修理するための設計」を行っています。艦船の修理が必要な箇所を米海軍の規則や要求事項などに沿って修理の仕方を考えたり、技術的な計算をしたり、CAD（コンピューター支援設計）を使って図面を描いたりすることが私たちが行う「設計」なのです。

「修理するための設計」という仕事は単独で行う地味な作業だと思われるかもしれませんが、「設計」は艦船の修理計画全体の中の一つの工程にすぎず、その修理方法を実行するための手順の確定、現場での具体的な作業の施工、工程管理など、組織全体を横断して様々な仕事に携わる人達が一丸となってやつと一つの仕事として成り立ちます。まさに、ラグビーのチームプレー精神を表す「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE（一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために）」です。

この2年間、私はたくさんの人達に助けられました。それはきっと今後変わらないと思います。これからも周囲の仲間達への感謝を忘れず、今度は私が誰かの助けになれるように頑張っていこうと思っています。

コメント

わたしは米海兵隊岩国航空基地にある米海軍極東建設本部岩国地域支所において「購買、契約補助職」として2005年1月から勤務し始めました。

2017年6月から、海軍補給システム部隊（NAVSUP）横須賀艦隊補給センター契約部にて「契約、調達顧問職」として勤務しています。わたしの主な業務は、契約内容を検討し、契約部所内における契約方針や手順等を立ち上げ、それを更新及び推奨として実行し、また米国東部にある海軍補給システム本部から送られてくる契約についての規制と変更の確認とその詳細な分析を行い、規制等を部所内の契約担当官へ通知するなど、契約の中でも主に方針の部分を担当しています。また、契約全般について担当官からの疑問に答え、方針や手順を示し、助言することもあります。さらに、品質管理チームを率いて品質保証にも努めています。

NAVSUP 横須賀艦隊補給センター契約部での勤務を通して色々なことを学べる機会を楽しんでいます。大きなオフィスで働くことは初めてのことでまだ慣れないことも多々ありますが、同僚と一緒に何かを成し遂げられたときは充実感があります。これからも職場の仲間とともに協力しながら日々の業務に励みたいと思います。